

「木島平村豪雪警戒本部」設置

木島平村積雪観測所の降雪量が170センチを超えたことから、1月29日午前9時に、「木島平村豪雪警戒本部」が役場内に設置されました。村では、道路の除排雪や危険箇所のパトロール、雪崩の発生するおそれのある箇所のある箇所の巡視や点検の実施、高齢者等の弱者世帯の見回り、雪おろしなどの対策を行っています。

皆さんのご実家やご親戚のお宅は、雪対策は万全でしょうか？この機会に帰省をされて、屋根の雪下ろしや庭先の雪かきなどを行ってみてはいかがでしょうかでしょう。

和太鼓の勇壮な響きをご堪能ください！

鬼島太鼓

はる う
「春を弾つ」

開催のお知らせ



日時 平成24年3月4日(日)
午後2時開演(開場午後1時30分)

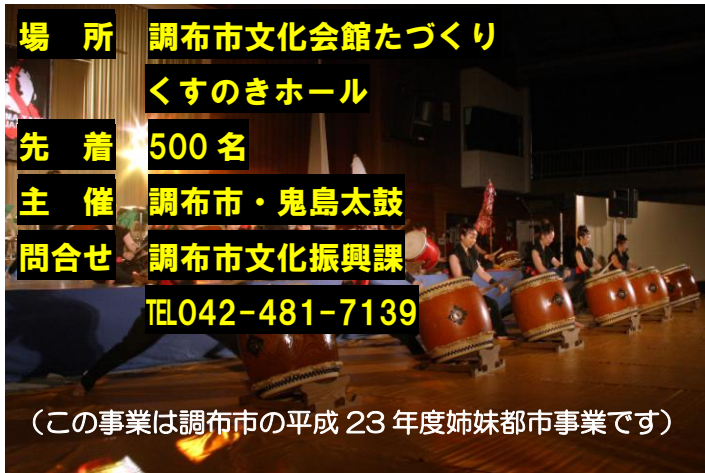
場所 調布市文化会館たづくり
くすのきホール

先着 500名

主催 調布市・鬼島太鼓

問合せ 調布市文化振興課

TEL042-481-7139



木島平村の冬の風景



今年も開催！ 中学校の同期会

さいたま市 實井 護

参加者は、10名前後であるが、昭和36年3月、木島平中学校を卒業して東京の近郊に居住する者が、毎年2回集まって楽しいひとときを過ごしている。

この会は、渡邊佐千雄君（長野市に居住）が、長い間、お世話役を務めてくれていて、現在も、約30名がメンバーとなっている。メンバーが営むお店でやった事もあり、多い時には25名も参加した。仕事、恋愛、結婚、子育て、親の介護、木島平村の事など、その時々のお話が絶えなかつた。二次会は、カラオケに行っている。

1月14日、「新和食 Dining 隠れ房（居酒屋）」新宿店で開催した。昨年3月は、地震の発生で急遽中止になったため、1年ぶりの再開となった。山梨の現場から駆けつけた者もいて10名が参加してくれた。66歳、まだまだ元気で働いている者が多くて驚いている。

次回を、5月20日と決めている。元気な姿で再会したいと願っている。



「内山手すき和紙体験の家」にお越しください

上埜 暁子

馬曲温泉から馬曲川に沿ってやまぶき街道を下り、道珍の橋を右折で渡って左カーブを曲がると、村道一号線は一気に視界が開けます。

南に高社の雄姿、正面には妙高、斑尾、黒姫、戸隠、飯綱の北信五岳が連なり、眼下には千曲の流れと飯山の町並み、そして木島田んぼの広がり。山も田んぼもそれぞれが季節ごとに色合いを変え、空の色を映し、一日として同じ表情の日はありません。

この村道一号線を送電線の鉄塔のところから右に入ると、「名水の里」内山地区に入ります。馬曲に住んでいる私は、内山に「出勤」するために毎朝この景色を楽しませていただいています。

江戸時代よりよい障子紙の代名詞とされてきた「内山紙」の発祥の地と言われているのが、ここ内山地区です。雪国の風土によってはぐくまれてきた紙すきの原点を探りつつ、現代の生活の中で和紙をどのように活かしていけるのか、模索と挑戦の日々です。

今後は、小学校や村民有志の方々とも連携しつつ、木島平ならではの紙づくりを目指してゆけたらと思っております。

皆様もどうぞ是非一度体験の家に足をお運びいただければ幸いです。心よりお待ちしております。

